

2040年問題と人材育成

2025年問題はまさに今年直面していることで、団塊世代（昭和22～24年生まれ）の方々が後期高齢者（75歳）になり、高齢者人口は全体の30%、後期高齢者は18%と予測されています。

そして次に待っているのが2040年問題で、団塊ジュニア世代（第二次ベビーブームの昭和46～49年生まれ）の方々が前期高齢者（65歳）となり、高齢者は人口全体の35%、後期高齢者は20%になると予測されています。労働人口はますます減少し、社会保障費は2018年の1.5倍になると言われています。

また2023年には出生数727,277人、死亡数1,575,936人で、出生数は死亡数の半分以下となり人口減少が進んでいます。

皆様の周りでも、定年退職者が増えているなど感じる事はないでしょうか。2040年問題はその年までは大丈夫なのではなく、もう始まっているのです。



ある介護事業者様では、今後の人材不足、特に管理職不足を想定し、将来リーダー・管理職になってほしい人たちを育成する研修を始めておられます。まだ何の役職もない方々ですが、介護現場でリーダー的役割を担っておられる方を選抜し、21時間コース(7時間×3回)の研修を月1回ペースで実施しておられます。

私はその研修を担当させて頂いてしまして、研修名は「リーダースキルアップ研修」で、リーダーに向けてスキルをアップしていく研修です。

研修では半日単位でグループリーダーを決めてもらい、グループワーク進行や発表してもらう人を指名してもらったりします。1日の間に3～4回グループワークを実施しますが、まずはグループ内で全員が自分の考えを発表し、それを取りまとめて全体発表をしてもらいます。全体発表は毎回違う方に発表してもらうようお願いします。

2日目の研修になりますと、前にでてきてもらい皆さんの前で発表してもらいます。これを繰り返すことで、最初は人前で話すことに躊躇していた方もだんだん慣れてこられ、当たり前のようにマイクを持って話をされるようになります。「できません」と言う方はおられません。

今まで話したこともなかった違う部署の人たちとも、グループワークやゲームなどを通じてどんどん仲良くなり、研修後もその関係性は続きます。職場内の良いコミュニケーションが生まれます。

2日目の研修後、研修責任者の方が「この（研修参加）メンバーで新部署を作り、何か新しい事業を始めたらすごいことが起こりそうですね!!」と言っておられました。

この研修責任者の方はずっと研修を見ておられるわけではないのですが、研修後の受講レポートに書かれている内容や、参加者の皆さんの生き生きした表情を見られて、そのように感じておられるのかなと思います。

私も、人ってこんなに変われるんだという事を実感しています。

7時間×3回という大きな時間枠をいただけますと、グループワークやゲームを取り入れ、ある意味遊びながら、楽しみながら、心と身体で学んでいただけるなと思っています。

「遊びながら学んでもらう」というのは、私がパナソニック エイジフリー(株)で人材育成を担当していた時の、自分だけの「裏テーマ」でもありました。

私自身が様々な研修を受講した時に、内容は興味あるものなのに眠くなって何も頭に残っていない事が時にありましたので、そうならないよう参加型で皆さんがワクワクしながら、学び成長していただけるような研修をやり続けていきたいと思っています。



けあ人財アカデミー合同会社
代表 垣内 イスズ